

第6期雄武町総合計画後期実施計画

ローリング（見直し）を実施

第6期雄武町総合計画は、平成30年度から令和9年度までの10カ年を期間とする『基本構想』と基本構想をもとに前期と後期の5カ年ごとに策定する『基本計画』、基本計画推進に向けた事業を定める『実施計画』、財源を健全に確保する『財政計画』の4層構造となっています。

雄武町総合計画	
基本構想	期間 10カ年
基本計画 (前期・後期)	基本構想をもとに5カ年ごとに策定
実施計画 (前期・後期)	基本計画推進に向けた事業
財政計画 (前期・後期)	健全な財源の確保

および『内容変更事業』についてお知らせします。なお、これらの事業は、町議会における予算の議決を経て、正式に実施することが決まります。

I 地域産業の振興と雇用の創出 (事業費は令和8年度実施分)

変更 スマート農業推進事業

3274万円

このうち『実施計画』は、各年度の予算編成における基本指針となるもので、社会情勢の変化や時代のニーズに対応するため、毎年度、ローリング（見直し）作業を行っています。

今月号では、本年度のローリングによって位置づけられた主な『新規事業』を行います。

国営事業などの実施により圃場の大区画化が図られている一方で、農業従事者の高齢化や担い手（働き手）不足が課題となっていることから、當農活動の省力化を図るため、スマート農業（自動操舵システムなど）の導入に向け、情報通信環境の整備を行います。

II 保健・医療・福祉の充実

変更 特別養護老人ホーム等整備事業

6672万円

特別養護老人ホームの施設や設備について、老朽化などによる維持補修などが必要となっていることから、照明のLED化整備と特殊浴槽などの更新を行います。

変更 医療機器整備事業

2677万円

国保病院の老朽化した医療機器などを計画的に更新し、今後も地域の医療機関として、町民への安心安全な医療提供体制を維持・継続していきます。

III 教育・文化の振興と拠点づくり

変更 新しい学校づくり事業

2030万円

町内の小中学校すべてにおいて老朽化が進行しており、経年劣化による建物の不具合も目立つてきていることから、将来的な校舎新築に向けた基本計画を策定します。

変更 農業集落施設等設備事業

1100万円

中雄武集落センターについては、施設が完成してから約40年が経過しております。経年劣化による屋根や壁の損傷が進んでいることから、適正な管理運営を行っため、必要な改修などを行います。

変更 町有林脱炭素推進事業

0万円

脱炭素社会の実現に向け、適切に管理された広大な森林資源を有効活用し、J-CREDDITを創出することで脱炭素社会の実現を図るとともに、J-CREDDITの売却益により、森林整備促進のための財源確保を図ります。

新規 雄武地区（雄武漁港）水産流通基盤整備事業

3067万円

田浦な漁業活動のため、外郭施設の整備により、航路・港内静穏度の向上を図ることともに、航路・泊地の増深、岸壁の改良を行つか、上部施設の整備およびレールの再配置などをを行い、船揚場利用の安全性向上と就労環境の改善を図ります。

V 協働によるまちづくりの推進

変更 地域おこし協力隊活用事業

8423万円

引き続き、お試し地域おこし協力隊に係る事業を実施するほか、地域おこし協力隊インターン制度を活用し、全国から地域の活性化に意欲のある人材を呼び込み、地域力の維持向上を図ります。

変更 体育施設整備事業

1084万円

農村広場（野球場）については、内野グラウンド部分の土が飛散などにより薄くなり、利用者に支障をきたしているため、グラウンドの土の補充などをを行い、適切な施設管理に努めます。

問合せ窓口

見直し後の『後期実施計画書』に登載されたすべての事業は、町ホームページと総合政策課窓口で公開しています。